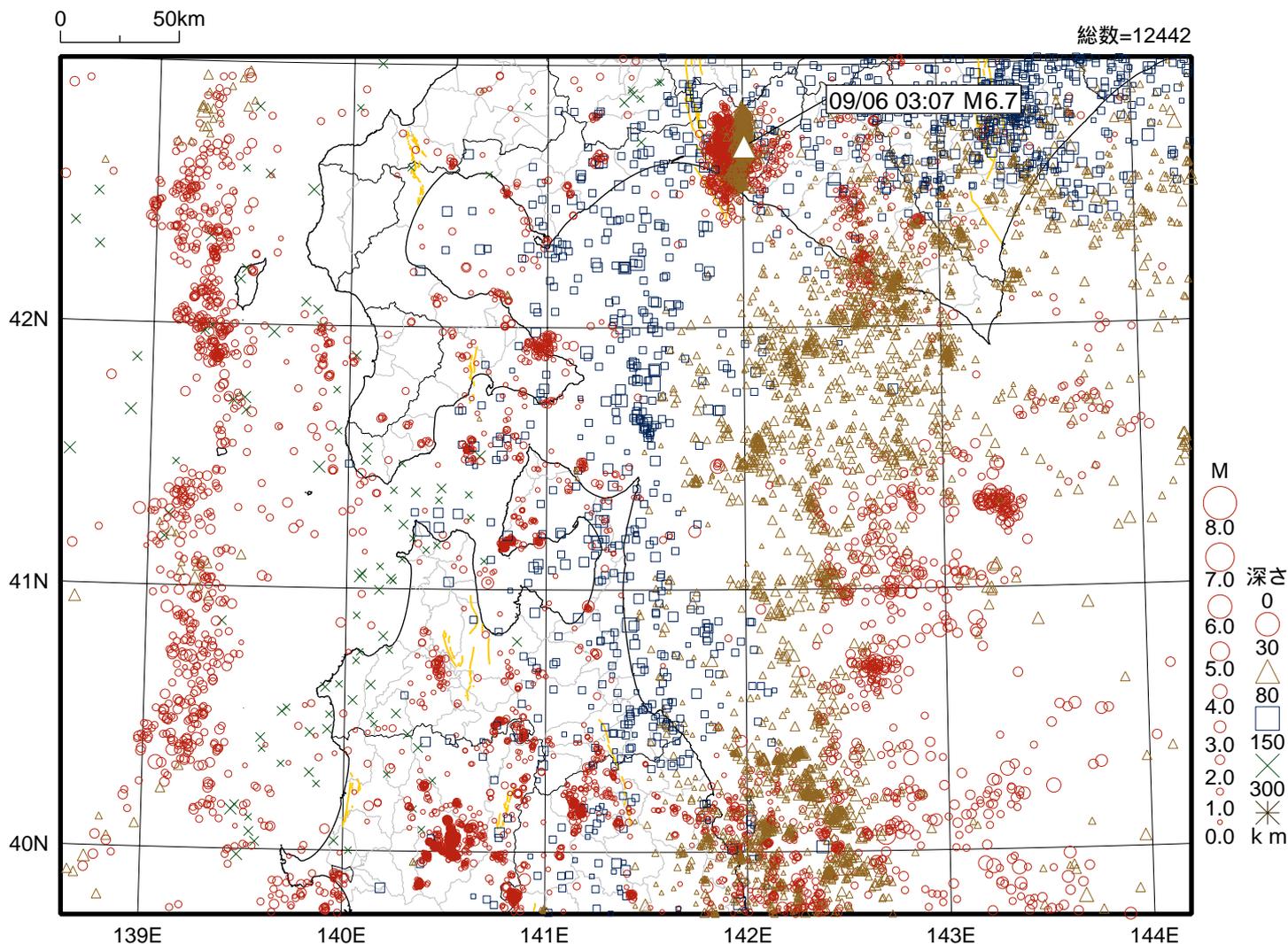


# 渡島・檜山地方の地震活動図

2018年1月1日～2018年12月31日

震央分布図

函館地方気象台



これは暫定値であり、データは後日変更することがあります。

記号Mはマグニチュードを表します。

图中橙色の線は地震調査研究推進本部による主要活断層を表します。

## 地震概況（2018年1月～12月）

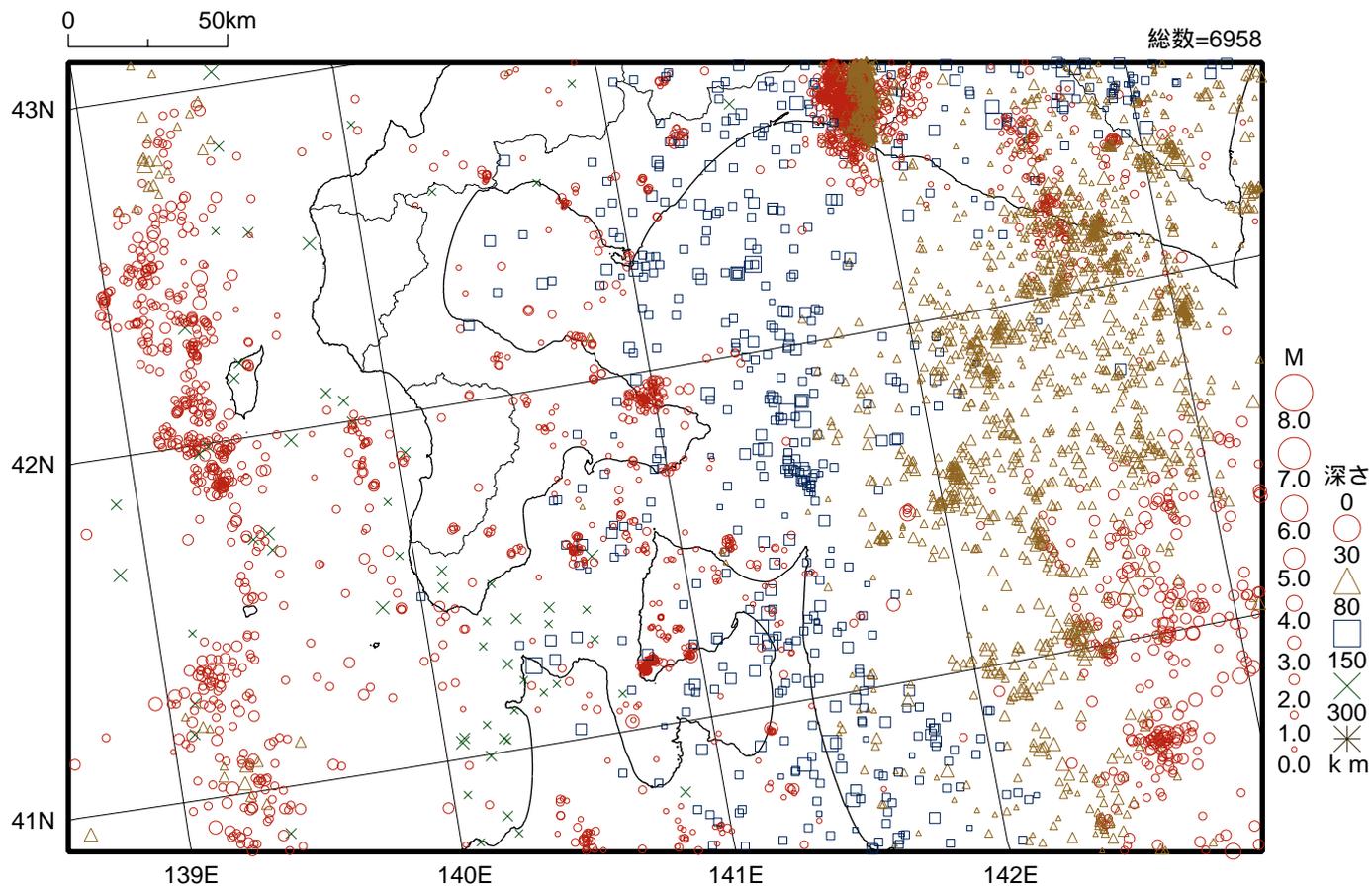
この期間中、渡島・檜山地方の震度観測点で震度1以上を観測した地震は111回(前年68回)、そのうち震度4以上を観測した地震は1回(前年0回)で、最大震度は5弱でした(詳細は「2018年渡島・檜山地方で震度1以上を観測した地震の表」を参照)。

9月6日03時07分、平成30年北海道胆振東部地震(M6.7、深さ37km)により、胆振地方の厚真町で最大震度7を観測しました。渡島・檜山地方では、函館市新浜町で震度5弱を観測するなど、全ての震度観測点で震度5弱～1を観測しました。この地震により、函館市では負傷者が10名(北海道調べ)、また、ほとんどの地域で停電が発生するなど、ライフラインにも大きな影響が出ました。この地震の発生以降、震源周辺で発生した地震により、渡島・檜山地方では震度3～1の地震を49回観測しました。

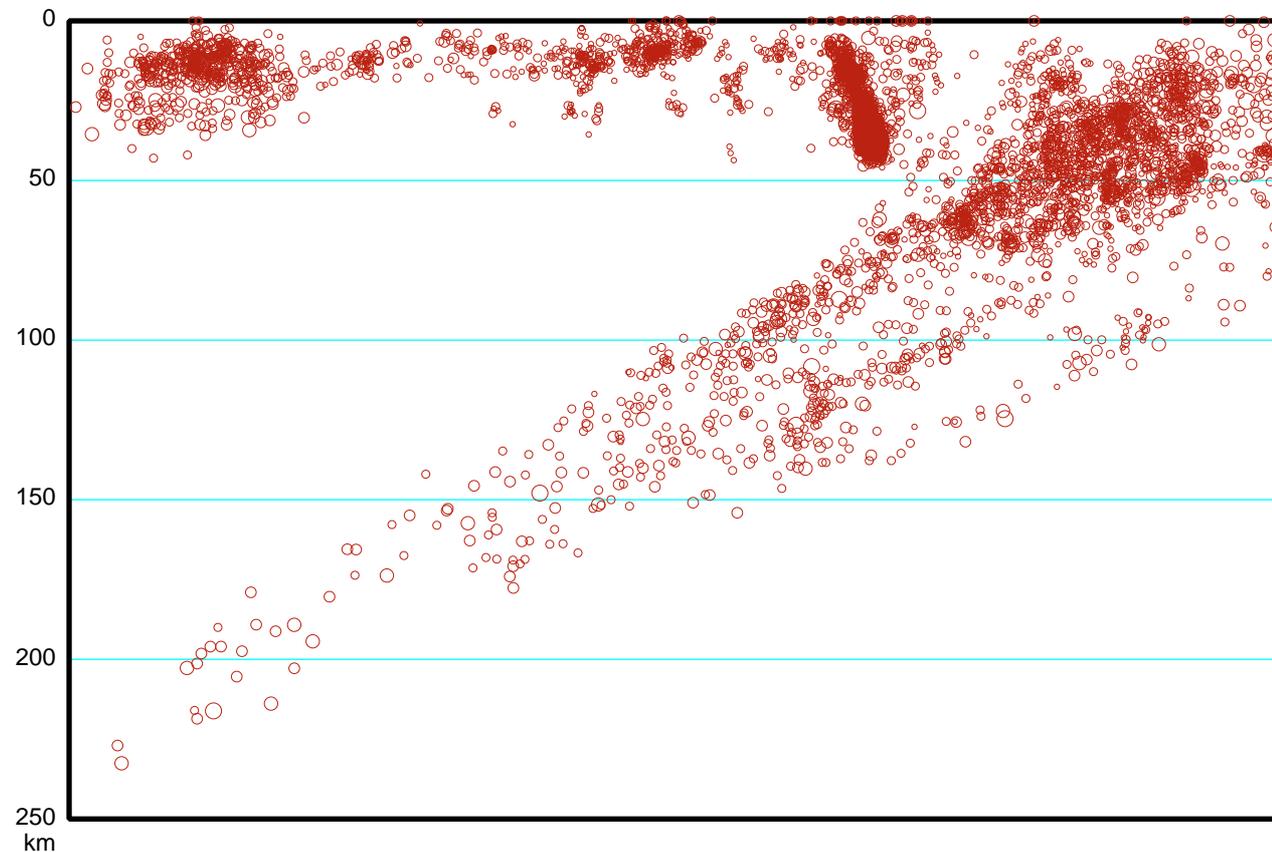
この活動図は、函館地方気象台のホームページに掲載しておりますのでご利用ください。  
ホームページのアドレスは、「<https://www.jma-net.go.jp/hakodate-c/>」です。

2018年1月1日 ~ 2018年12月31日

# 震央分布図



# 断面図



これは暫定値であり、データは後日変更することがあります。  
記号Mはマグニチュードを表します。

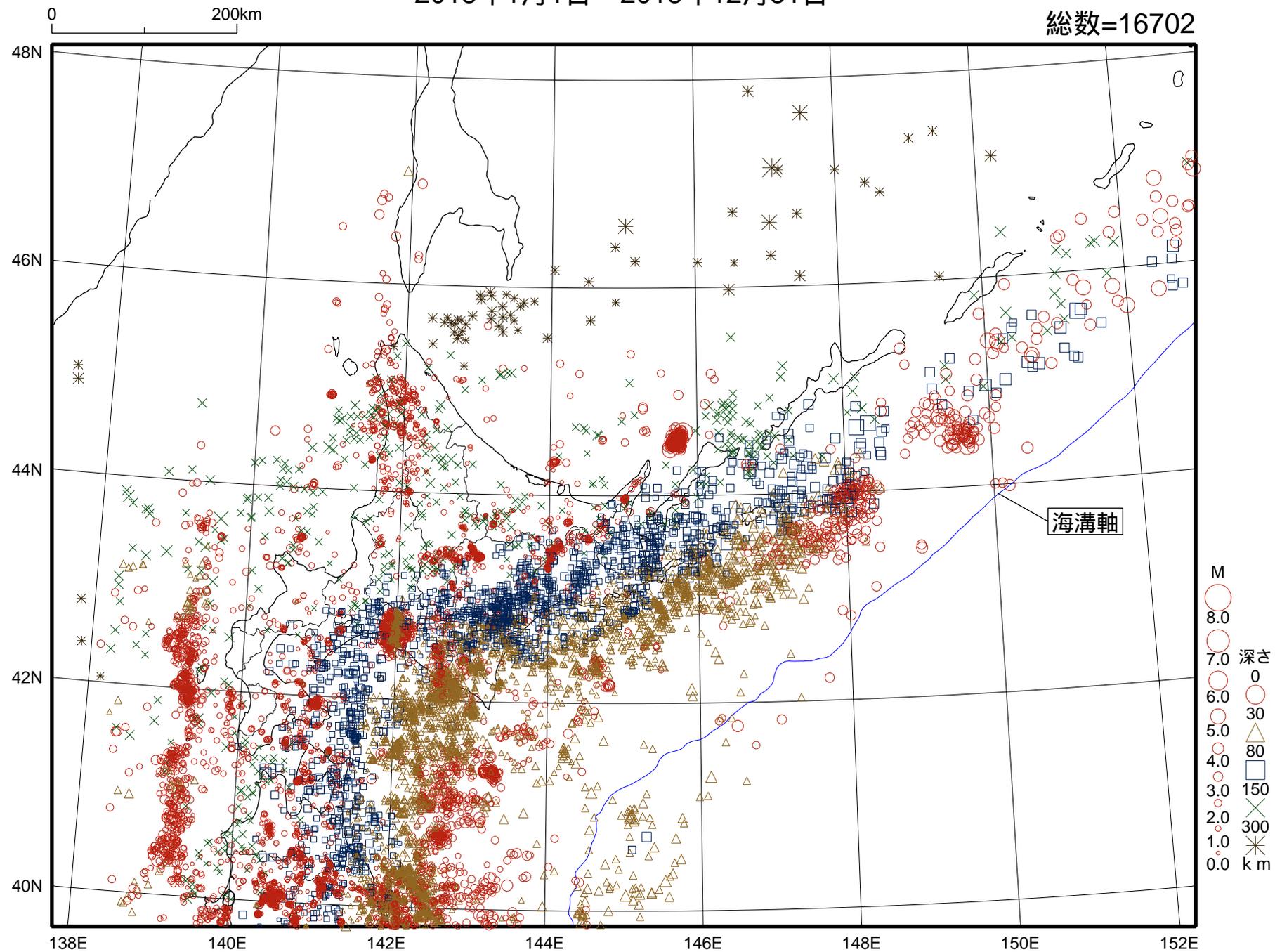
# 北海道の地震活動図

2018年1月1日～2018年12月31日

札幌管区気象台

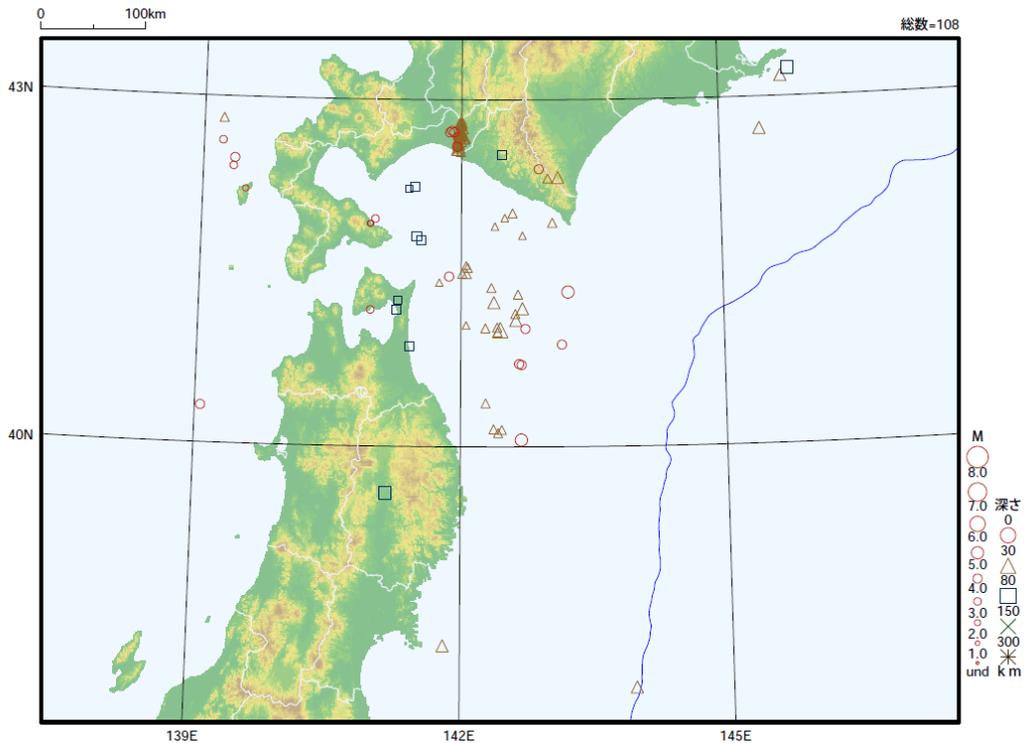
震央分布図

総数=16702

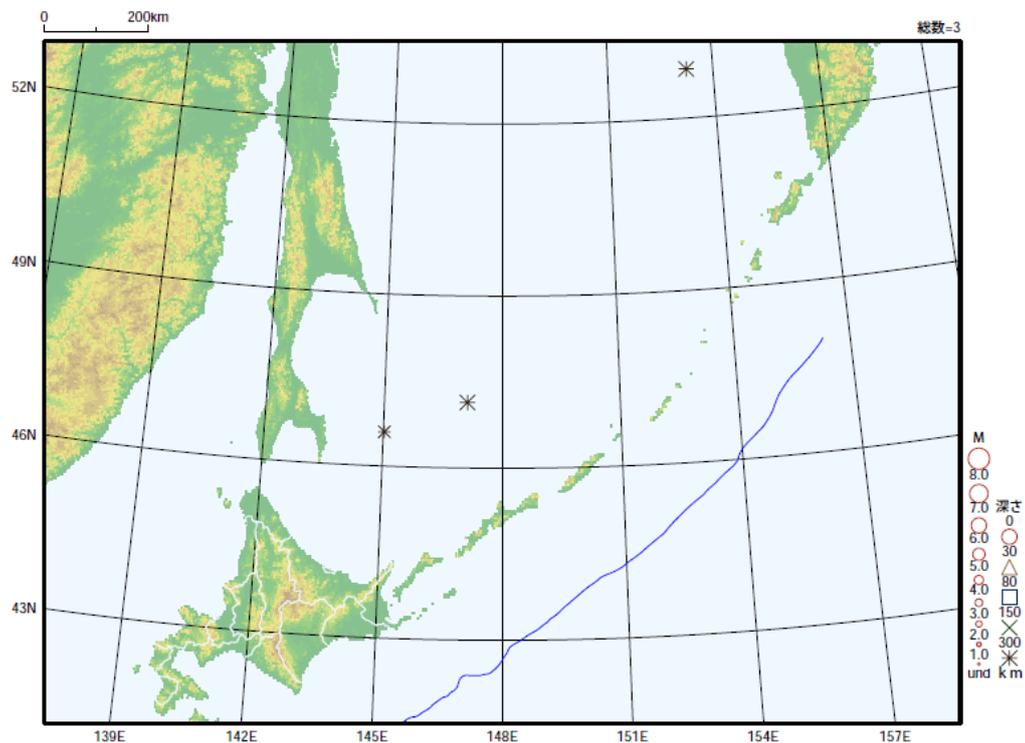




## 2018年 渡島・檜山地方で震度1以上を観測した地震の震央分布図



震源の深さ 0km~150km



震源の深さ 151km~

データは後日、変更になることがあります。その場合は随時、気象庁ホームページおよび地震・火山月報（防災編）で公表します。

気象庁ホームページ 震度データベースURL

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.php>

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。

また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。





